

145解体用機械を起因物とする死傷災害事例(最大99事例まで) (2020年)

No	年	月	発生時	死傷災害事例	年齢	事故の型	小業種	労働者規模
1	2020	1	9 ～ 10	解体工事現場で、重機を後退した際、後方確認不足で作業員の右足を重機で轢き、右足甲に挫傷を負った。	22	7	30309	10 ～ 29
2	2020	1	16 ～ 17	基礎工事中の現場で、破碎機を使ってコンクリートがらを破碎作業中、破碎機の先が滑って右足甲に直撃し骨折・裂傷を負った。	41	6	30201	1～ 9
3	2020	1	11 ～ 12	家屋解体現場で、重機の爪を手作業で交換中動いたため、左手中指基節骨を折った。	54	6	30209	1～ 9
4	2020	2	14 ～ 15	個人宅新築工事で重機を使用して解体作業中、廃材まとめ場所に廃材を移動するとき、レバー操作ミスによりアームの先端に接続していたフォークが操縦席に向かって勢いよく動き、フロントガードを突き破り、ペダルを乗せていた右足にフォークが刺さって、右足親指、薬指を骨折した。	57	6	30202	10 ～ 29
5	2020	2	11 ～ 12	重機を使用し、フレコン（ゴミ用大型袋）をゴミコンテナに投入していた。フレコンの取っ手を外そうとした際に、重機のアタッチメントとコンテナに左手が挟まれ、親指を骨折して圧挫創を負った。	49	7	30309	30 ～ 49
6	2020	3	14 ～ 15	平屋建物解体後に、基礎コンクリートをコンプレッサーで斫りして、コンクリが弾けて、左第2中足骨を折った。	39	6	30209	1～ 9

7	2020	4	11 ～ 12	会社に着いて道具を降ろしたときに、左手を挟んで、親指に切創を負った。	48	7	30209	～ 29
8	2020	4	10 ～ 11	解体工事現場にて重機小割機でフレコンバックを移動させる際、フレコンバックの頭を持ち上げオペレーターに合図したが、右手が避け切れず、小割機に挟まれ、右手中指、薬指、小指を骨折した。	26	7	30209	～ 29
9	2020	4	17 ～ 18	現場で、片付け作業中、重機のキャタピラに長い鉄筋が引っ掛かり、キャタピラと一緒にぶつかり、左足人差し指を骨折した。	52	6	30209	1～ 9
10	2020	5	16 ～ 17	解体現場で廃材をトン袋に入れて移動させるために、被災者がバックホーのハサミ部分にトン袋の取っ手を掛けようとした際、バックホーの運転者との連携不足があり、右手中指と人差し指を挟まれ、挫滅創を負った。	61	7	150103	～ 29
11	2020	6	11 ～ 12	解体作業中、基礎取り壊しおよびガラ処分を4人で行っていたところ、ガラの入ったフレコンバックをつかみ機で移動するためフレコンバックの紐を掛けようとしたとき、つかみ棒で吊り上げられたフレコンバックの紐に左手小指を挟まれて、骨折した。	55	7	30199	～ 29
12	2020	6	13 ～ 14	駐車場修繕工事で、振動工具（ブレーカー）約20kgを持って路面はつり工事中、工具からの激しい振動で、腰椎症腰部関節筋膜炎を発症した。	52	19	30106	1～ 9
13	2020	7	9 ～ 10	ハサミ付きバックホウで片付け中、ハサミのピンが抜け掛けたため、ハサミを少し浮かし修理した際、ピンが抜けてハサミが閉じ、背中に当たり、腰椎を骨折した。	33	6	30309	1～ 9
14	2020	8	15 ～ 16	木造家屋解体工事現場で片付け作業中、停車中の重機（パワーシャベル）が思っていたより近くにあり、勢いよく振り向いた際に衝突し、頭部および腰部を打撲した。	37	3	30209	1～ 9
			15	解体工事現場で、被災者が地面に落ちていたガラを拾っていたとこ				

15	2020	8	～ 16	ろ、周囲にいた重機オペレーターが危険を察知して旋回を止めた。 その際、重機が掴んでいたコンクリートガラの一部がこぼれ、被災者の右手に当たり骨折した。	22	4	30209	1～ 9
16	2020	8	14 ～ 15	営業所ヤード内で、被災者を含む従業員3名で、バックホウに取り付けたアイアンフォークを取り外そうとした。被災者が鉄の棒を使用してピンを押し出したところ、アイアンフォークが動き、アイアンフォークのピン穴と鉄の棒の間に左手小指を挟んで切断した。	45	7	80409	1～ 9
17	2020	8	14 ～ 15	採掘場で、油圧ブレーカーの作業中、運転席に戻る際、運転席キャビンのドアノブに手を掛けたとき、ドアが開きバランスを崩し、地面（高さ1.3m）に転落した。その際、右大腿骨頸部骨折、右肘部挫創を負った。	74	1	20209	10 ～ 29
18	2020	8	14 ～ 15	2tダンプにスクラップ積込作業で、積込後スクラップとゴボレーンが若干干渉し閉まらず、作業者がフォーククロー全開で押すとスクラップは収まり、閉じることができた。停止合図で、作業者は開いていたフォーククローを閉じる誤操作をし、ゴボレーンが噛みついた。そのため、被災者は同時に指が挟まり、右親指を切断した。	56	7	30209	1～ 9
19	2020	9	9 ～ 10	廃棄物の選別作業をしていて、別の作業が気になり、作動中のバックホーの後ろから様子を見ようと近付きすぎて、バックホーの下に付いている排土板に足の甲を挟んで、右足甲に打撲を負った。	44	7	80109	30 ～ 49
20	2020	9	11 ～ 12	最終沈殿池の既設レールを撤去するため、床コンクリートの斫り作業をしていた。斫り機の先端部分（チゼル）に右足を添えていたところ、チゼルが金属疲労により折れた。その際、チゼルが右足に当たり、中足骨を折った。	38	4	30302	1～ 9
21	2020	9	13 ～ 14	倉庫の外に棚を出す作業中、棚が倒れると勘違いしバックホウで支えようとしたところ、アームと棚の間に右手を挟み、右示指切断を負った。	43	7	30209	30 ～ 49
22	2020	10	11	重機で基礎を解体中、コンクリートガラが倒れ、足の上に落下し、	22	5	30209	1～

			12	小指を骨折した。					9
23	2020	10	11 ～ 12	R階の解体作業で、ALCだけをクレーンにてワイヤーモッコで下ろす作業をしていた。その際、ALC材の分別作業をしていた被災作業員と重機が接触して頭部を打撲した。	52	6	30309	～	29
24	2020	10	14 ～ 15	工場内で、雑品スクラップを解体中、取り外した上物をユンボで上げて間に木材を挟めようとしたときに、上物が動いて指が挟まり右親指を骨折した。	28	7	11009	～	29
25	2020	11	11 ～ 12	土場で、パワーシャベルにアタッチメントを取り付けていたところ、パワーシャベルに向かってアタッチメントの左側を取り付け終わり、右側を取り付けようとして振り返った際、アタッチメントの側面に右膝をぶつけて挫傷を負った。	24	3	30199	1～	9
26	2020	11	14 ～ 15	解体工事中、重機から降りるとき、足を滑らせてキャタピラーの上に落下し、背骨を折った。	37	1	30209	1～	9
27	2020	11	14 ～ 15	プラント内の作業現場で、重機（砕石仕様機）の運転席へ上がる際に、足を滑らせて地面に落下し、左膝を骨折した。	61	1	20201	50 ～ 99	
28	2020	11	23 ～ 24	店舗復旧工事現場で研り作業中、土間コンクリートをハンドブレイカーで撤去するとき、ハンドブレイカーの先が跳ねて右足に落下した。その際、安全靴の保護のない部分に当たり、甲に切創を負った。	22	8	30209	1～	9
29	2020	11	17 ～ 18	現場で、重機作業中、後方に別の重機が旋回した際、カウンターウエイトに相手のカウンターウエイトが当たり、頸部挫傷を負った。	43	3	150102	～	299
30	2020	11	16 ～ 17	敷地内で鉄を運んでいるとき、ユンボのキャタピラ前に入って下敷きとなり、脳挫滅により死亡した。	51	7	150102	1～	9

31	2020	11	9 ～ 10	2階スラブ上で、3階スラブ上の鉄筋を降ろす際、鉄筋に引っ掛かり 3階スラブ上の鉄骨が落ちて、2階スラブ上の被災者に当たり左足首 を骨折した。	26	4	30209	1～ 9
----	------	----	--------------	--	----	---	-------	---------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.html](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.html)(職場のあんぜんサイト)

参考：[労働災害の分類の概要](#)

[各起因物における死傷災害事例\(最大99事例まで\) \(2020年\)](#)に戻る。